

2005年度 大学院法務研究科  
法学既修者認定試験  
会社法  
( 問 題 )

---

問1 株主総会の決議に次のような瑕疵があった。それぞれの瑕疵は決議の効力に影響を及ぼすか、理由を付して答えなさい。

口頭により株主総会が招集され、全株主が出席の返答をしたが、1名が病気で欠席した状態で株主総会が開催された場合（定足数および決議要件は満たしている）。

株式がXからYに譲渡されたが、Yが株主名簿の名義書換請求をしなかった。会社がYに議決権を行使させて、株主総会の決議が成立した場合。

問2 A株式会社は、親会社としての影響力を背景にしてその子会社であるB株式会社から、不当に低い価格で製品を買い入れ、Bに損害を与えていた。

B社の少数株主であるXは、どのような措置をとることができるか。

A社の代表取締役がB社の代表取締役を兼任していた場合はどうか。